

# 未来への協働

2023年3月22日(水) 第362号

発行所 未来への協働  
ホームページ  
https://kyodomirai.org  
〒577-0023  
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5  
電話/FAX  
(06) 4306-3512  
郵便振替  
00940-8-213061  
Eメール  
mirai\_newsroom@yahoo.co.jp  
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行  
●200円(本体182円)  
●定期購読 購読料(送料別)  
1月 400円(送料188円)  
半年 2,400円(送料1,128円)  
1年 4,800円(送料2,256円)

## 今号の主な内容

- 2面 微用工問題 「第三者弁済」に反対
- 3面 非核神戸方式とは(上)
- 4面 女性と若者が社会を変える
- 5面 日本人の価値観を恥じる
- 6面 遺骨、霊石で埋め立てるのか

紙面へのご意見、感想を  
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

## 扇状地

ウクライナでの戦争の推移を毎日のように確認する日々が続いている。しかしあらゆる情報は、政治的意図が入り込み、同じ情景を全く別の表現で表すことがしばしばある

# 湯川委員長に実刑4年 労働組合への「死刑」判決

弾圧事件 生賀滋 関西

関西生コン弾圧事件の判決が3月2日と6日、大津地裁と大阪高裁で出された。大津地裁は、湯川裕司関西地区生コン支部委員長に懲役4年の実刑判決。一方、大阪高裁は全員を無罪とする逆転勝利判決だった。

## 和歌山事件 大阪高裁で逆転無罪

### コンプラ活動が「恐喝」

2日、大津地裁で開かれた連帯ユニオン関西地区生コン支部(関生支部)のコンプライアンス活動を「恐喝」とするなどの事件の判決で畑山靖裁判長は、関生支部の湯川裕司委員長に懲役4年の実刑判決、他の5人にも執行猶予付きの有罪判決を下した。

### 産業界政策運動の正当性

関生支部は産業界政策運動によって、1立米1万円に下落していた生コン価格を1万7千円程度の適正価格に回復させ、協同組合に加盟する生コン業者は大きな利益を得ていた。そこで働く労働者も安定した労働条件を実現できるようにした。判決はその産業界政策運動を「犯罪」としたのだ。

また、タイヨー生コンが関生支部に1千万円をカンパした事件の一番では、武建一前委員長は「恐喝行為がなかった」として無罪になっている。ところが金銭受け渡しの現場にいなかった湯川委員長に対して「証拠はないが、カンパをする理由がないから関生支部が要求したと推認できる」として「恐喝」と断定した。「湯川委員長を実刑にする」という結論ありきの不当判決だ。

3月6日、恒例の戦争あかん! ロックアクションの集会とデモ。デモには音楽が入って沿道の若者の反応がいい。集会ではスウィング・マサさんが3月8日に行われる「Women's Parade 2023/3/8」への参加を呼びかけた。マサさんは毎回のロックアクションでサックスを演奏している女性。マサさんが、なぜ国際女性デーの行動を企画したのかを話した。(堀ちえこ)

張をこごとく排斥した広域協同組合(広域協組) 検察側のシナリオ通りの判決「根本的どころを一切見ようとしていない不当判決」「どこが違法行為なのか。高裁で無罪判決をかちとろう」と話した。坂田副委員長は「最後まで闘い続ける」と決意を表明した。(蒲牟田)

6日、大阪高裁(和田真裁判長)は、元暴力団員による嫌がらせに対して関西支部が行った生コン産まない生き方を選択

産まない生き方を選択 サックスをやっているところと決めたとき、色々な男社会とたたかっていたか、女ればならなかった。私は20歳の時に家を出た。親からの解放を勝ちとって二つのことを決めた。まず、結婚しないこと。女

## 視線 日本は隅々まで男社会 時代を変えるのは女たち

産まない生き方を選択しなければならなかった。女性解放というのは天皇制、家父長制度とのたたかい。親たちが私に押し付ける「結婚、出産」という生き方を拒絶しな

らなければならなかった。私は子どもを産む機械ではない。産まない生き方を選択した。「産む産まないは女の自由じゃないか」と思った。もちろん、結婚も夫婦

項へ適用あるいは類推適用があり、違法性は阻却される」として無罪を言い渡した。裁判所が関生支部の産別労働運動の正当性を認める画期的判決だ。無罪を勝ちとった仲間には「不当判決を覚悟していただけに、本当に話したい」と涙ながらに話した。滋賀事件の有罪判決をひっくり返す反撃を準備しよう。(石田)

写真は関西生コン労組ぶしの弾圧を許さない東海の会のウェブサイトから転載しました。

扇状地 ウクライナでの戦争の推移を毎日のように確認する日々が続いている。しかしあらゆる情報は、政治的意図が入り込み、同じ情景を全く別の表現で表すことがしばしばある



OPINION

# 謝罪なしでは解決にならない

## 徴用工問題 「第三者弁済」に反対する

3月6日、韓国政府は「徴用工問題の解決策」を発表した。日本企業による元徴用工（強制動員被害者）への賠償金の支払いを、韓国政府傘下の「日帝強制動員被害者支援財団」（2014年発足、以下支援財団）が肩代わりする、「第三者弁済」という方策である。

賠償金40億ウォン（4億2千万円）の財源は、日韓条約に伴う計5億ドルの経済協力金で成長した韓国企業などからの拠出によるもので、日本企業は1円も求められない。

日本の最高裁にあたる韓国大法院は、2018年11月、強制動員被害者の「強制動員慰謝料請求権」を認定し、三菱重工と日本製鉄（旧新日鉄住金）に対して賠償命令を出した。一方、日本政府は一貫して「日韓条約・請求権協定で請求権は消滅」と主張し、日本企業と被害者が交渉すること自体も妨害してきた。また韓国の尹錫悦大統領による日韓首脳会談の求めに

対して日本政府は、「元徴用工訴訟への韓国政府の対応を見極めたうえで判断する」（22年9月13日付日経新聞）として、日付日経新聞）として、韓国側に圧力をかけ続けていた。この不当な圧力に屈するかたちで「解決策」を発表した尹大統領にたいして、韓国では批判の声が高まっている。

**植民地主義の根深さ**

18年の大法院判決は被害者たちの損害賠償請求権について、「未払い賃金や補償金を要求するものではなく、日本政府の違法な植民地支配および侵略戦争の遂行と直結した日本軍需会社の『反人道的不法行為』に対する『慰謝料請求権』」であるとした。

判決で明らかのように加害者が支払うべき慰謝料を、どうして被害者側が肩代わりしなければならぬのか。誰がどう見てもおかしい。

しかも「解決策」の決定過程で当該の強制動員被害者の「日本企業の謝罪なしの金はいらぬ」「

地支配がどれほど「反人道的不法行為」（大法院判決文）であったかを顕著に示す問題である。「尹錫悦は第2の李完用だ（1910年の日韓強制併合に署名した）」「尹錫悦打倒」と、キャンドルデモは数万規模に拡大している。

**真の関係改善へ**

今回、岸田政権は、「歴史問題はこれまでの歴代政府の反省とお詫びの立場を継承する」という。発言をよく聞くと、政府関係者は「強制動員」や「徴用工」とは言わず、「旧朝鮮半島出身者」問題と

いう。18年大法院判決の後、安倍の指示で「全部が強制ではないので」「誤解されないように」「言い換えが決められたのだ」などのどこに「反省と謝罪」があるのか。

政治権力や経済界の思惑や利害のための「日韓関係の改善」は不要だ。私たちが謙虚に歴史を学び、被害者の人権回復のために日・韓・アジアの市民・労働者と交流し、発言をよく聞くと、政府関係者は「強制動員」や「徴用工」とは言わず、「旧朝鮮半島出身者」問題と

いう。18年大法院判決の後、安倍の指示で「全部が強制ではないので」「誤解されないように」「言い換えが決められたのだ」などのどこに「反省と謝罪」があるのか。

政治権力や経済界の思惑や利害のための「日韓関係の改善」は不要だ。私たちが謙虚に歴史を学び、被害者の人権回復のために日・韓・アジアの市民・労働者と交流し、発言をよく聞くと、政府関係者は「強制動員」や「徴用工」とは言わず、「旧朝鮮半島出身者」問題と

「労働組合の腐敗を生んできた」として槍玉にあげた。12月18日の高位与党・政府協議会でハン・ドクン事務総長は「労働組合関係調整法改正案を提出。この加盟を認めていないことが、「労働市場の二重構造」と「労働者の搾取システム（正規職と非正規職の格差）の原因となっている」というのだ。これはデタラメな議論である。元請けの下請けという経済構造が、労働市場の二重構造を作りあげているのであって、その原因を労働組合に求めるのは見当違いだ。

### 原告は解決策を拒否

韓国民法では、当事者が拒否すれば第三者弁済はできない。遺族も含めた原告団は15人、うち本人の存命者は3人。いずれも90代半ばだ。13日、3人は支援財団に「第三者弁済を拒否する」と通告した。原告側弁護士は、「日本企業の資産現金化手続きは進行中」と発表した。他にも大法院9件、高裁6件、地裁52件が係争中だ。直後の韓国ギャラップの調査では賛成35%、反対59%。徴用工問題は、日本の植民

# あまりに壮絶なR1治療

## 甲状腺がん患者の真実

ジャーナリストの白石 語られたラジオアイン草さんの講演「誰にも言えない甲状腺がん患者の真実」を聞いた（5日、大阪市内）。そこで

放射線ヨードを摂取しやすい体にする。放射性ヨードの線量は100〜150ミリキュリーで、30ミリキュリー以上投与された患者は、最低2日間個室に隔離される。面会も謝絶だ。

原発事故によってまき散らされた放射性物質によって甲状腺がんを発生させた患者の体に、再び放射性物質を投与するのだ。その治療の過酷さは、資料として配付された「311子ども甲状腺がん裁判」に掲載された「原告患者の体内ヨウ素量5さん（女性）の意見」にアクセスして支援を減らし、陳述全文に切々と綴られて



1月18日、国家情報院が民主労総と全国保険医療労働組合などの事務所を突然家宅捜索した。容疑は「国家保安法違反」である。「民主労総のA氏が海外で北朝鮮の工作員と接触した」というもこの対共捜査権を国家情報院から奪い、警察に移管する法改正をした。その施行が来年1月1日なのだ。ユン政権は対共捜査権を国家情報院に存置するための法再改正を狙っており、その世論づくりのための弾圧だ。

# 労働組合に集中攻撃

在日韓国研究所 金光男さん

### 朝鮮半島情勢を読む ④

労働組合を弾圧すれば支持率が上がると考えたユン・ソンニョル大統領は、昨年12月15日に開かれた第一回国政課題点検会議で、「労働改革を成し遂げることができなければ、労働問題が政争と政治的問題に流れ、政治も滅び、経済も滅びることになる」として、労働組合攻撃を強めている。その一つが労働組合会計への介入である。韓国では労働組合に国や自治体が補助金を交付しているが、それが

「労働組合の腐敗を生んできた」として槍玉にあげた。12月18日の高位与党・政府協議会でハン・ドクン事務総長は「労働組合関係調整法改正案を提出。この加盟を認めていないことが、「労働市場の二重構造」と「労働者の搾取システム（正規職と非正規職の格差）の原因となっている」というのだ。これはデタラメな議論である。元請けの下請けという経済構造が、労働市場の二重構造を作りあげているのであって、その原因を労働組合に求めるのは見当違いだ。

1月18日、国家情報院が民主労総と全国保険医療労働組合などの事務所を突然家宅捜索した。容疑は「国家保安法違反」である。「民主労総のA氏が海外で北朝鮮の工作員と接触した」というもこの対共捜査権を国家情報院から奪い、警察に移管する法改正をした。その施行が来年1月1日なのだ。ユン政権は対共捜査権を国家情報院に存置するための法再改正を狙っており、その世論づくりのための弾圧だ。



寄稿 非核神戸方式とは(上) 栗原富夫(神戸市議会議員)

# 核艦船を入港させない

「非核神戸方式が始まってから、3月で48年になる。栗原富夫神戸市議会議員に、その経緯や意義を寄せてもらった。『平和な港町』『市民自治、住みたい街に』の思いは強い。『市民とつなぐ、議会とつなぐ』という会派「つなぐ」(5人)幹事長。栗原さんは、非核神戸方式「平和のみなど」をアピールしてきた。(本紙編集委員会)

「核兵器積載艦艇の神戸、行政指導として運用戸港入港拒否に関する決議は、1975年3月、

神戸市議会において満場一致で可決された。以降、外国艦船は「核を積載していない」という非核証明書を提出しないと、神戸港に入港できなくなった。フランス、イタリア、インドなどの艦船は証明書を提出し入港した。米海軍は提出しないため、入港しない。

「核兵器積載艦艇の神戸、行政指導として運用戸港入港拒否に関する決議は、1975年3月、神戸市議会において満場一致で可決された。以降、外国艦船は「核を積載していない」という非核証明書を提出しないと、神戸港に入港できなくなった。フランス、イタリア、インドなどの艦船は証明書を提出し入港した。米海軍は提出しないため、入港しない。

## 第6突堤利用に抗議

神戸港は1951年まで連合軍の占領下に置かれて、朝鮮戦争時は頻りに米軍艦船が入港した。講和条約後も第6突堤(6突)が米軍専用とされ、べ



神戸港の近くに立つ非核神戸方式の碑

神戸港は1951年まで連合軍の占領下に置かれて、朝鮮戦争時は頻りに米軍艦船が入港した。講和条約後も第6突堤(6突)が米軍専用とされ、べ



栗原富夫さん

法で定められた港湾管理法としての市長権限の行使により行われている。港湾法は、戦後の民主法の第1号と言われる。戦前、神戸や横浜など重要港湾は国が管理し、軍港や出兵に使われ侵略戦争への出撃拠点になった。その反省から港湾法は、重要港湾はそれぞれ地方自治体が管理し、国家利用されることを排除することになり、提出しない場合は入港できない。軍港を自治体の管理へ

軍港を自治体の管理へ 非核神戸方式は、港湾法で定められた港湾管理法としての市長権限の行使により行われている。港湾法は、戦後の民主法の第1号と言われる。戦前、神戸や横浜など重要港湾は国が管理し、軍港や出兵に使われ侵略戦争への出撃拠点になった。その反省から港湾法は、重要港湾はそれぞれ地方自治体が管理し、国家利用されることを排除することになり、提出しない場合は入港できない。軍港を自治体の管理へ

「ストップ反軍拡!市民集会とデモ」(2月23日、神戸市内/市民デモHYOGO)で山本昭宏さん(神戸市外大准教授)の講演を聞いた。戦争に加担しない 山本さんは「敵基地攻撃能力の保有」論の根拠は、「攻められたらどうする」というロジックによるという。軍の論理は敵争に加担しないというを殺すこと。民の論理は譲らぬ精神であり、それみんな生きていく(小田実)、「戦後民主主義

「月桃」の碑 2月25日(土) 那覇 市瀬高、灯台跡から大浦湾の現状をみる。日曜で工事は休みだが多くの土砂運搬台船、タグボートが浮かんでいた。道路沿いに「ホープスポット(希望の海)」の看板がある。

「月桃」の碑 2月25日(土) 那覇 市瀬高、灯台跡から大浦湾の現状をみる。日曜で工事は休みだが多くの土砂運搬台船、タグボートが浮かんでいた。道路沿いに「ホープスポット(希望の海)」の看板がある。

「月桃」の碑 2月25日(土) 那覇 市瀬高、灯台跡から大浦湾の現状をみる。日曜で工事は休みだが多くの土砂運搬台船、タグボートが浮かんでいた。道路沿いに「ホープスポット(希望の海)」の看板がある。



キャンパス・ゲート前で=2月27日、沖縄県名護市

「新基地断念まで座り込み抗議 3158日」

「座り込み、牛歩、カヌー」ルポ「辺野古ぶる」の5日間 鳥々を戦場にするな 那覇・県庁前県民広場で開かれた「島々を戦場にするな! 沖縄を平和発信の場!」2・26緊急集会に参加する。与那国島、石垣、宮古をは

「座り込み、牛歩、カヌー」ルポ「辺野古ぶる」の5日間 鳥々を戦場にするな 那覇・県庁前県民広場で開かれた「島々を戦場にするな! 沖縄を平和発信の場!」2・26緊急集会に参加する。与那国島、石垣、宮古をは











トガシさんの「沖縄便り」(53)

### 遺骨、霊石で

## 埋め立てるのか

「台湾有事」にかこつて「埋め立てるのか」という措置命令が出た。自衛隊の配備の拡充しか出せなかった。政大、安保三書など、大府が仲介させた公書等調軍拡が続く。いま、「辺野古埋め立て反対の国会請願署名」運動を行って

いるが、さらに問題がある。沖縄戦の最後の激戦地だった摩文仁の丘から掘り出された土砂採掘である。土砂は辺野古新基地建設の埋め立て土砂に使われるため、開業者の計画を阻止してきた案件である。

県は「開発行為の中止は私権制限につながり、難しい」と判断し、業者は「必要な措置を執るよ

用許可」が出れば、工事を再開するだろうとのこと。

全国の1741自治体のうち227の自治体(沖縄県31、県外196)が、「遺骨混じりの沖縄南部土砂の採取中止を求め」と決議している。この世論に「激戦地域からの土砂で埋め立てはしない」と言えば、開業者も土砂採取をあきらめるだろうが、防衛省は明らかに、何も答えない政府である。

事態が動きそうないま、遺骨の発掘を続けるがマフヤーの具志堅さんたちは、遺族の声を行政に届けるため、3月4日、読谷でも遺族公聴会を開いた。「南部のど

こで亡くなったかはわからない」という遺族。「遺骨ではなく小石(琉球石灰岩)が入ったお骨箱がある未開発地である。ガマがあり、そこに身を隠しながら亡くなった方たちの遺骨が眠っている。その崖が埋め立て用に狙われる前に、具志堅さんたちは県に次のような要請文を送ろうとしている。

### 緑の地を県有地に

①沖縄戦の激戦地である南部の未収容戦没者遺骨を保護するため、県が未開発緑地帯を県有地とすること。②県有地として聖地にするよう取り組んでいく。

摩文仁の遺骨混じりの土砂採掘が焦点になっていくが、人目に付かない場所では石灰岩の採掘を私たちが賛同した。声をあげる。

(富樫 守)

### 空の波動

渡辺信雄

今日 宇宙の果てから  
光の鳥が 羽ばたいて  
その波動を 受け  
痛みが少し やわらいだ  
木々の ざわめき笑う声  
ウグイスの レッスンに合せて  
歌いながら  
樹林を 歩き 声を聴く  
古い皮を脱ぎ捨てた 裸の木  
日々 細胞は  
新しい空気を 吸って  
光を食み  
夜には  
星屑の欠片を 浴びて  
空へ 手を伸ばす

## 「満州」に関する覚え書き (その2)

前回に引き続きリットン調査団の陰謀(カクワークス社・1760円)を読んだ。だが、密約文書の原文写本も添付されていなかった。アメリカの機密文書公開原則期間も50年延長され、2007年には公開されているはずだが、約3カ月にわたる調査に遂行された。



①満州事変は日本軍の正当な自衛手段とは認められず、日本軍の慎重に準備された計画の下に遂行された。  
②満州国は、住民の総意に基づいて独立した国家とは認められない。  
③満州は中国領土にあらず、という日本の主張は、当を得ていない。この報告に先立つ9月15日に、日本は満州国を承認しているのであるが、報告が国際連盟からの脱退を決定させた。そのように見えてしま

## 「事変・傀儡・移民・崩壊」

「親にも話してみる」  
「関心持っている」

3月の辺野古行動・神戸から集めた署名を持ってきてくれた。「がんばってください」「いくらやっても基地建設は止まらな



い」「以前、沖縄に旅行に行った。関心を持っていく。戦跡を巡りたい」という人も。「月桃」を歌い、ジャンベで盛り上がった。  
3月11日(土) 気温は20度を超え、初夏のよう。若い人、女性の署名が多い。若い女性が熱心に説明を聞いていた。「帰って親にも話してみます」と。次の署名につながるかな。若い男性が「岸田首相は何もせーへ



家族の介護もありません。市民運動などには「パートタイ

なかつたことを教えてもらいました。(マスコミなどに)あまり出ない記事を期待します。(か)「毎回の記事や発行の努力に敬意ですが、やや上から目線「面白さ」に欠ける。働く人たちの声を載せてほしい。介護現場のことなど、よかつた。(ふ)

まい・しよっと (48)



西国八十八カ所の古刹、裏山の小径に数十体の小さな野仏が並ぶ。30年ほど前、誰か悪戯し、尽く首が落とされた。一つ、一つセメントで補修した人あり。傷跡を残しながら、いまも静かに座している。

(撮影：2月、神戸市内/あきら)